

東京都立つばさ総合高等学校



1. 本校設立の経緯

(1) 都立高校改革推進計画

平成9年9月に東京都教育委員会が策定したこの計画は、都民の期待に応えるため、都立高校の課題に対応し、今後の展望を明らかにする都立高校改革の総合的な計画である。本校は、この計画に基づき、新しいタイプの高校として、平成14年4月に開校する。

(2) 開設準備室設置

開校に向け、平成12年度に、都立羽田地区総合学科高等学校（仮称）開設準備室が設置された。開設準備2年目となる現在は、19名（内事務8名は都立羽田高校兼務）の教職員が業務を行っている。

(3) 民間出身校長

東京都は、民間の優れたノウハウを教育現場にも積極的に取り入れるという観点から、平成12年度に、2名の民間企業出身の校長を全国の公立高等学校に先駆けて採用した。本校校長は、その中の1人（元日産自動車株式会社 お客様サービス本部 品質保証部技術主管）で、学校づくりにおいても、「顧客（生徒・保護者）第一」「教育品質第一」の観点から取り組んでいる。

(4) 校名決定

平成13年10月に、「東京都立つばさ総合高等学校」が正式な校名となり、学校として新たなスタートを切った。校名の由来は、本校の教育を示すイメージのキーワード「自分探し」「旅立ち」「大空」などに関わる言葉であり、地元の羽田空港ともイメージが合致していること、また、漢字の「翼」は「羽田と共に」を表し、地域とともに発展していく学校であるということによる。ひらがな表記については、軽やかで若々しく、最先端の総合教育を指向する本校にふさわしいと考えたためである。

2. 本校の教育理念・教育ビジョン

(1) 教育理念

先進的な総合教育を行い、主体的な個性の伸長や生涯にわたる学び方の修得、学ぶ意欲の高揚を図る。

- ①時代にあった勤労観・職業観を育成し、将来の職業を含む自己目標への自覚を深めさせる。
- ②「人」と「もの」とに実践的にかかわり、豊かな人間性とたくましく生きる力を養うとともに、産業社会・国際社会に貢献できる能力・態度を育成する。
- ③学校間連携や施設の開放、公開講座の設置など、開かれた学校として生涯学習にも対応する。

(2) 教育ビジョン

魅力あふれる総合学科教育により、次代を担う個人的でたくましい人財を育成する（人は社会の財産であるとの考えから「財」を充てた）。その人財とは、

- ①創造性に溢れ、能力・才能を伸ばしていく人。
- ②社会や人を大事にする豊かな人間性を持った人。
- ③自主・自律の規範を持って自立の道を拓く人。

3. 本校の特徴

(1) 全日制単位制総合学科

総合学科は、個々の生徒の特性にきめ細かく対応し、多様な生徒の個性に応じて多様な選択ができる、個性尊重、人間性重視の観点から普通科と専門学科を統合する新たな学科として、平成6年から設置できるようになった。生徒の多様な興味・関心、進路希望等に対応して、幅広い選択が可能な教育課程の編成や進路選択能力、職業観・勤労観の育成に大きな期待が寄せられている。現在、全国で163校に増えており、人生目標を持つことができた生徒が生き生きと学習に取り組み、生きる力の修得と希望進路の実現にと大きな成果を上げている。

また、本校は単位制であり、多種多様な選択科目から個々の進路に応じて科目を選択し、時間割を作成していく。

(2) 多彩な5系列と150以上の選択科目

専門分野ごとに科目をグループ分けしたものを「系列」と呼ぶ。基本的にはどの系列からでも自由に科目を選択することが可能であり、この点が、従来のコース制や専門学科とは異なる。本校は5系列で、普通科目に加え専門科目や、本校独自の学校設定科目を設置している。実践的な科目や大学進学に対応する演習科目、各種資格取得を支援する科目などが用意されており、それぞれの分野の能力を高め、専門知識・技術を身に付けることができる。次に示すのは、本校の系列と選択科目の例である。

■【 美術・デザイン系列 】

専門教科「美術」の科目を中心に、美術・デザイン・工芸の基本を学ぶ。また、コンピュータを活用し、工業デザインや映像メディア表現、服飾のデザインなどの手法も学ぶことができる。

★主な進学先：美術系、デザイン系の4年制大学・短大・専門学校等

〔選択科目例〕美術史、素描、構成、絵画、世界史B、日本史B、映像メディア表現Ⅰ・Ⅱ、CADⅠ・Ⅱ、版画、ファッションコーディネート、クラフトデザイン、ビジュアルデザイン、現代文演習、小論文演習等

■【 生産・テクノロジー系列 】

専門教科「工業」の科目を中心に、企業との連携も図り、最新の工業理念や技術を学ぶ。また、「数学」・「理科」の科目により技術を支える理論を学習し、実習を通じ基礎技術とものづくりの楽しさを体得する。

★主な進学先：工学系、理学系、工業系の4年制大学・短大・専門学校等

〔選択科目例〕工業技術概論Ⅰ・Ⅱ、材料技術A・B、CADⅠ・Ⅱ、工業化学Ⅰ・Ⅱ、化学工学Ⅰ・Ⅱ、(機械工作・電気工作・化学製造)実習Ⅰ・Ⅱ、(機械・電気・工業化学)製図Ⅰ・Ⅱ、電子計測制御、電子技術、数学Ⅰ・A演習、数学Ⅱ・B演習、数学総合演習、物理演習、化学演習、生物演習等

■【 情報・サイエンス系列 】

「数学」「理科」「情報」の科目を中心に、自然科学系の理論を学ぶ。また、コンピュータを活用した実習や講義を通して、高度情報化社会に対応した情報技術を習得し、

その技術をさまざまな学習に応用する。

★主な進学先：理・工・医歯薬系、情報系の4年制大学・短大・専門学校等

〔選択科目例〕情報と表現、アルゴリズム、モデル化とシミュレーション、コンピュータデザイン、情報基礎・応用実習、情報システムの開発、ネットワークシステム、図形と画像の処理、マルチメディア表現、数学Ⅰ・A演習、数学Ⅱ・B演習、数学総合演習、物理演習、化学演習、生物演習等

■【 国際・コミュニケーション系列 】

「国語」「地理歴史」「公民」「英語」の科目を中心に、広く社会の基本知識とコミュニケーションの方法を学び、外国語の実践的科目により、社会で役立つ語学力を身に付ける。また、教科横断的な学校設定教科「国際文化理解」で国際社会に生きる総合的な教養・思考力を高める多様な科目を学ぶ。

★主な進学先：人文科学・国際・法・経済系の4年制大学・短大・専門学校等

〔選択科目例〕異文化・地域研究、演劇、観光、コミュニケーション・プラクティス α ・ β 、実用英文法演習、英語読解演習、フランス語・フランス文化初・中級(他ドイツ語、スペイン語、中国語)、源氏物語講読・演習、漢文演習、世界史演習、日本史演習、国際関係・時事英語研究、日英ディベート、TOEFL演習等

■【 スポーツ・健康系列 】

400mトラック、屋根付プール等の恵まれた施設や多摩川の自然などを生かし、スポーツの楽しさを体験し、能力・技術を高める。生涯学習に対応したスポーツや福祉体験施設を生かした学習を通して、心と身体の健康を考え、社会体育・社会福祉について広く学び、実践する。

★主な進学先：体育・社会福祉・教育系の4年制大学・短大・専門学校等

〔選択科目例〕スポーツ専攻中・上級、ダンス基礎・発展、体育理論、リバースポーツ、野外活動 α ・ β 、野外実習 α ・ β (集中講座)、スポーツと身体、スポーツと心・社会、こどもの保育、基礎介護、社会福祉基礎・演習、スポーツ栄養、福祉住環境、児童文化、小論文演習等

(3) カリキュラム

1年次では、あらゆる進路に必要となる科目を学習して基礎力を付け、2年次から、本格的な科目選択が始まる。選択科目には、総合選択科目(系列色の強い科目を含む)と自由選択科目がある。大学進学に対応するカリキュラムから、即戦力として実社会で活躍できる知識・技術を習得するカリキュラムまで、個々の進路希望に対応する。

< 1 年次 > 数字は単位数

必修修科目 (27)	自選 (2)	HR (1)
---------------	-----------	-----------

- 必修修：国語Ⅰ(4)、世界史A(2)、数学Ⅰ(3)、情報科学(2)、科学ⅠA(2)、体育(2)、保健(1)、芸術(音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰより1科目選択)(2)、英語Ⅰ(3)、オーラル・コミュニケーションA(2)、家庭一般(2)、産業社会と人間(2)
- 自選：国語表現、日本史A、地理A、数学A、物理ⅠA、生物ⅠA、スポーツ専攻初級、素描と油絵、英検演習、工業基礎α

< 2 年次 > 数字は単位数

必修修科目 (11)	総合選択科目・自由選択科目 (18)	HR (1)
---------------	-----------------------	-----------

- 必修修：倫理(2)、体育(2)、保健(1)、英語Ⅱ(2)、家庭一般(2)、産業社会と人間・総合的な学習の時間(2)

< 3 年次 > 数字は単位数

必修修科目 (9)	総合選択科目・自由選択科目 (20)	HR (1)
--------------	-----------------------	-----------

- 必修修：政治・経済(2)、体育(3)、英語Ⅱ(2)、課題研究(2)

(4) 進路学習

充実したガイダンスと丁寧なカウンセリング、ボランティアやインターンシップなどの体験活動で、一人ひとりの進路希望の実現を支援する。「産業社会と人間」(1・2年次)「総合的な学習の時間」(2年次)「課題研究」(3年次)を通して、生徒は3年間継続して自己発見と進路実現を追求することができる。インターネットをはじめ、豊富な資料を活用した進路ガイダンス、専任のキャリア・カウンセラーを配置し、進路のあらゆる悩みに答えるキャリア・カウンセリングも実施する。

(5) 2期制と少人数制・習熟度別授業

実授業時間を増やすとともに、選択幅を拡大するために2期制を採用している。指導形態では、T・T



生徒の交流を深める開放感あふれる校舎

の活用や、必修修科目における数学・英語の習熟度別授業、選択科目における少人数制授業など、一人ひとりに対応したきめ細かい授業を実施する。

(6) 充実した施設・設備(新校舎)

都立高校の平均敷地面積のほぼ2倍、東京ドームより広い5万㎡の敷地に、多くの講座に対応できる冷暖房完備の校舎が新築された(平成13年12月竣工)。本館(講義棟)の屋上には、緑あふれる庭園がある。都立初の全天候型400mトラックを持つ広大なグラウンドなど、学習に最適な環境が整っている。

4. 調査・研修

開校に向け、中学生へのニーズ調査や、他の総合学科高校や公立高校、私立高校のベンチマーク調査を実施したり、校長による校内研修会において、企業でよく用いられる課題解決の手法(TQM)を習得し、実際の業務に活用したりするなど、よりよい教育を実施できるよう工夫している。

ホームページ：<http://www.mars.dti.ne.jp/~haneda>
メール：haneda@mars.dti.ne.jp

(文責 東京都立つばさ総合高等学校教諭 市村裕子)



校舎模型図